

# 2022 年度事業報告

## 1. 内外の主な情勢と活動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大長期化とウクライナ危機や円安の進行に伴うエネルギー、穀物、生産資材価格の高騰が畜産の経営基盤を揺さぶった。

令和2年から世界に多大なる影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症は、行動制限の緩和等により、食肉相場や子牛価格はコロナ以前の水準に戻りつつある。しかし、ウイルスは変異に伴う感染の波を繰り返し、畜産経営にも引き続き大きな影響を与えている。

和牛枝肉の価格（建値となる東京食肉市場の加重平均価格）は、令和3年度では、和牛去勢のA4価格は、前年を上回る又は前年並みで推移していたが、令和4年1月以降は年末需要の反動に加え、コロナ感染拡大がみられる中で、外食需要等が低迷し、コロナ前を下回って推移。令和4年4月に入り、大型連休に向けた手当て買い等により枝肉価格は回復し、和牛（A4）についてはコロナ前と概ね同水準で推移した。

配合飼料価格についてみると、令和2年は、4月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴うシカゴ相場の下落等により、配合飼料価格も下落傾向で推移したが、10月以降、中国向け輸出成約の増加や南米産の作況悪化懸念等によるシカゴ相場の上昇等により、配合飼料価格も上昇。令和3年も、引き続きシカゴ相場の上昇等を背景に、配合飼料価格の高騰が続いた。

このような状況を受け、国は12月に2022年度の畜産・酪農対策を決めた。子牛価格の低迷時に補てんする肉用子牛生産者補給金の保証基準価格は、黒毛和種で1頭当たり1万5,000円増の55万6,000円、合理化目標価格は同1万円増の43万9,000円で、いずれも2022年度から上げた。褐毛和種やその他の肉専用種も前年度より上げ、飼料等の資材価格の高騰を反映させた形となった。

その他、世界の食料需給をめぐるリスクの顕在化に対応するため、「食料安全保障の強化に向けた構造転換対策」を重点事項の一つとした令和5年度農林水産予算を概算決定。また、12月には「食料安全保障政策大綱」を策定し、飼肥料の自給強化をはじめとする食料安全保障の強化が求められた。

国際関係では、米国産牛肉へのセーフガード（緊急輸入制限措置）の見直しを反映させた改正日米貿易協定が決着し、令和5年1月1日から発効することとなった。従来では米国産の輸入量が基準を上回れば発動したが、TPP各国と米国の輸入量の合計が環太平洋連携協定（TPP）で定める基準を上回ることも条件となり、発動しづらくなった。

TPPは英国との新規加入交渉が続く他、コスタリカやウルグアイも加入を申請。特にウルグアイは牛肉の輸出大国で、市場開放の進展で、食品の国産需要が脅かされた。

輸出では、2022年1-11月の農林水産物・食品の輸出額が1兆2,433億円を記録し、令和3年の年間実績を上回った。ところが、牛肉をみると前期比8億円減の約460億円で輸出額を大きく減少させた。

このような状況の中、生産基盤の拡大や経営者の所得増大に向けた取り組みに全力を尽くすため、全国肉用牛経営者会議は各生産者組織と連携し、全国農業経営者協会の各事業に参画、関係する会議等への参加及び畜政活動等を行った。

## 2. 活動内容

### (1) 通常総会の開催

日時：2022年2月2日（水）

方法：オンラインと現地参集の併用方式

内容：2022年度通常総会

- 第1号議案 2021年度事業報告の承認
- 第2号議案 2021年度収支決算の承認
- 第3号議案 2022年度事業計画の設定
- 第4号議案 2022年度収支予算の設定
- 第5号議案 2022年度会費の徴収について
- その他

### (2) 監事会の開催

書面により監事監査を開催

内容：2021年度収支決算（案）について監査

### (3) 研究会等の開催

① 全国農業経営者研究大会 肉用牛分科会（勉強会、意見交換）の開催

日時：2022年2月2日（水）

方法：オンラインと現地参集の併用方式

内容：国内外の飼料・穀物市場を取りまく情勢について」

株式会社資源・食糧問題研究所 代表取締役 柴田 明夫 氏

② オンラインセミナーの開催

日時：2022年11月17日（木）

方法：オンライン方式

内容：「肉用牛をめぐる情勢」

農林水産省 畜産局 企画課 課長補佐 鈴木 雅人 氏

「飼料をめぐる状況について」

全国農業協同組合連合会 畜産生産部 推進・商品開発課 内堀 寛之 氏

③ 現地研究会の開催（中止）

新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を鑑み、不特定多数の経営者が集まる行事は、感染の危険性が危惧されているとし、出席者、関係者の健康・安全面を第一に考えた結果、現地研究会の開催は中止した。

（４）全国農業経営者協会としての活動

① 全国農業経営者協会（畜産関係組織）と全国農業会議所との意見交換会

日時：2022年1月11日（火）

方法：オンライン方式

題目：①飼養衛生管理基準等の改正について

②地域での防疫体制の現状と課題について

③今後、国全体で議論すべき家畜衛生について 他

内容：自社ならびに地域の防疫対策や飼養衛生管理基準等を守るための取り組みなどの家畜衛生を中心に経営に関する諸課題などを意見交換。

② 情報活動

全国農業経営者協会ならびに全国肉用牛経営者会議のホームページを活用し、会議の掲載等の情報発信に努めた。